

コロナウイルス関連 公開情報取りまとめ
～2020年4月15日(水) 17時現在～

在サンパウロ日本国総領事館

1 サンパウロ州

4月14日(火)～15日(水)

- 15日(水) 16時現在, 州内の感染者は1週間で64.6%増の1万1043人(前日9371人), 死者は同81.7%増の778人(前日695人)。感染は州内199市で, 死者は78市で確認。入院患者数は集中治療室に1132人, 一般病床に1200人となり, 2日連続で過去最多を更新。
- 15日(水), サンパウロ州政府は低所得層に対する食料支援プログラム「Alimento Solidario」を開始すると発表。4月～7月に民間の協力を得て毎月100万セット, 計400万セットを配布する予定。併せて同州政府は, サンパウロ都市圏内で社会的に不安定な状況に置かれている家庭に向けた衛生管理支援プログラム「Higiene e Limpeza Solidária」を始めると発表。同じく民間の協力を得て, アルコールジェルやトイレットペーパー, ゴミ袋等を詰めたセットを毎月30万, 計120万セットを配布する予定。
- 15日(水), サンパウロ州政府は企業関係者とこれまで4回の会合を実施し, 83の企業から累計3億6760万リアル分の寄付を受けていると発表。同寄付は日系企業からも寄せられており, PWC社による監査を受けて適切に受領・配分されている。5回目の会合は20日(月)に予定。
- 14日(火), サンパウロ州政府は13キロの調理用ガスボンベの販売上限価格が70リアルになったと発表。7月30日(木)まで。13日(月), 州消費者保護団体(Procon-SP)とサンパウロ大都市圏・州都石油液化ガス企業代表組合(Sergás)が合意した。
- 15日(水), サンパウロ市は災害事態宣言中の業務時間に関する条例を公布。通勤時の混雑回避のため, 例えばクリーニング店, 建築資材店, 薬局等は午前6時前または11時以降の営業開始が推奨される。
- 15日(水) 15時現在, サンパウロ市内の仮設病院の入院患者数は計136人(前日130人)。うち, パカエンブー競技場内の仮設病院では86人, アニエンビー国際展示場内の仮設病院では50人がそれぞれ入院。
- 14日(火), サンパウロ市は, 市内32か所の薬局でインフルエンザワクチンの無料接種キャンペーンを実施すると発表。期間は同日～5月22日(金)の9時～17時。併せて15日(水), 同市は, 3月23日(月)から開始した同キャンペーンの第2フェーズとして, 16日(木)より, トラック・公共交通機関の運転手, 港湾労働者, 刑務官や慢性病患者等を対象に, 同ワクチンの投与を始めると発表。

2 マット・グロッソ州

4月14日(火)～15日(水)

- 15日(水) 16時現在, 州内の感染者は151人(前日138人), うち州都クイアバ市が79人, ロンドノーポリス市が23人, シノピ市が11人と続く。死者は4人(前日同)。入院患者は6人(前日同)。
- 15日(水), 同州民事警察は, ワッツアップを通じて出回っている自家製アルコールジェルの製造方法は完全に誤っており, リスクがあるとして注意を喚起。
- 14日(火), 同州政府は, 災害事態宣言中に外出する全ての州民にマスク着用を義務付ける法案を州議会に送付したと発表。同州では既に民間・公的企業内でのマスク着用を義務付けていたが, 対象を拡大する。5月1日に施行し, 違反者には140リアルの罰金を想定。

3 マット・グロッソ・ド・スル州

4月15日(水)

- 15日(水), 同州政府は21日(火)の祝日を踏まえ, 20日(月)を休日にする^{と発表}。また, 14日(火)の州内の社会的距離の確保率が45.8%と全国ワースト1位だったとして, 州民に遵守を呼び掛け。
- 15日(水) 午前10時現在, 州内の感染者は121人(前日115人), うち州都カンポ・グランデ市が61人, トレス・ラゴアス市が11人と続く。死者は4人(前日同)。(了)